

サンプルカンパニー 御中

財務フィードバックシート

2025年4月

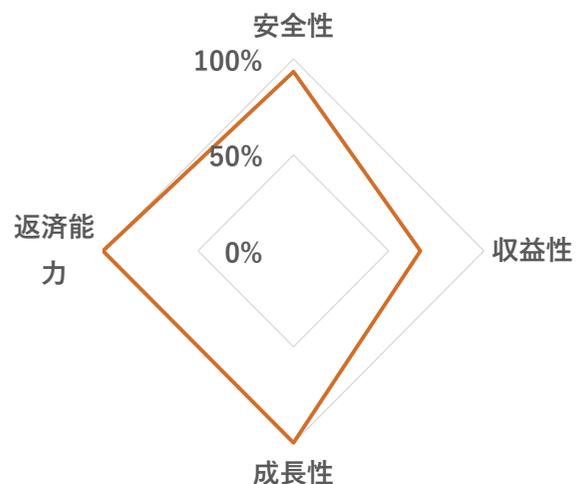


HELLObase

【0】財務判定シート

財務スコア判定

財務諸表の変化から、自社の傾向を掴みましょう。



総合評価	スコア	割合	合計点	評価
安全性	28	93.3%	88	○
収益性	20	66.7%		
成長性	20	100.0%		
返済能力	20	100.0%		

健全な財務状態を保っています。

①現預金

利益が出たからといって、必ずしも現預金（キャッシュ）が残るわけではありません。たとえば、営業利益が増加した場合でも、大規模な設備投資や配当金支払いが行われれば、現預金は減少する可能性があります。「現預金の増減理由」を把握して、財務戦略を考える材料にしましょう。

どのように変化したのか？

②純資産

純資産の変化を分析することは、会社のお金の安定性や成長の方向を把握するために重要です。純資産が増えれば、利益が積み上がり会社が健全に成長していることを意味します。一方で、減少している場合は、経営に課題がないか確認する必要があります。この分析を通じて、会社の現状を正確に理解し、今後の経営方針や計画を適切に判断できます。

どのように変化したのか？

③自己資本比率

自己資本比率の変化を分析することは、会社の財務健全性を把握するために重要です。自己資本比率が高いほど、会社は借入りに依存せず、安定した資金調達ができていることを示します。逆に、自己資本比率が低下している場合、借入れが増えている可能性があります。財務リスクが高まっていることを意味します。

どのように変化したのか？

安全性(30点)

	スコア	合計	評価
自己資本比率	43.4%	8	28 ◎
流動比率	319.2%	10	
固定長期適合率	69.8%	10	

収益性(30点)

	スコア	合計	評価
売上高営業利益率	7.7%	6	20 ○
総資産利益率 (ROA)	7.1%	6	
自己資本利益率 (ROE)	11.3%	8	

この状態を維持し、さらなる成長を目指しましょう。

この状態を維持し、さらなる成長を目指しましょう。

成長性(20点)

	スコア	合計	評価
売上高成長率	成長	10	20 ◎
営業利益成長率	成長	10	

この状態を維持し、さらなる成長を目指しましょう。

返済能力(20点)

	スコア	合計	評価
債務償還年数	2.8年	10	20 ◎
インタレストカバレッジレシオ	13.4倍	10	

この状態を維持し、さらなる成長を目指しましょう。

④流動比率

流動比率の変化を見ると、会社が短期の支払いをどれだけ余裕を持ってできるかが分かります。流動比率が上がれば、支払い能力が高まったことを示し、下がれば、資金繰りに注意が必要かもしれません。定期的に確認して、健全な運営を目指しましょう。

どのように変化したのか？

⑤固定長期適合率

固定長期適合率を見ると、会社が固定資産を長期資金でどれだけしっかり賄っているかが分かります。この比率が低いほど、安定した資金で固定資産を支えている状態です。逆に高い場合は、短期資金に頼りすぎている可能性があり、財務の安定性に注意が必要です。適切なバランスを保つことが重要です。

どのように変化したのか？

⑥当期純利益

当期純利益が変化した要因を特定する事が重要です。改善された場合は【成功要因】を、悪化した場合は【失敗要因】を把握しておくことで今後の経営に役立てる事が出来ます。

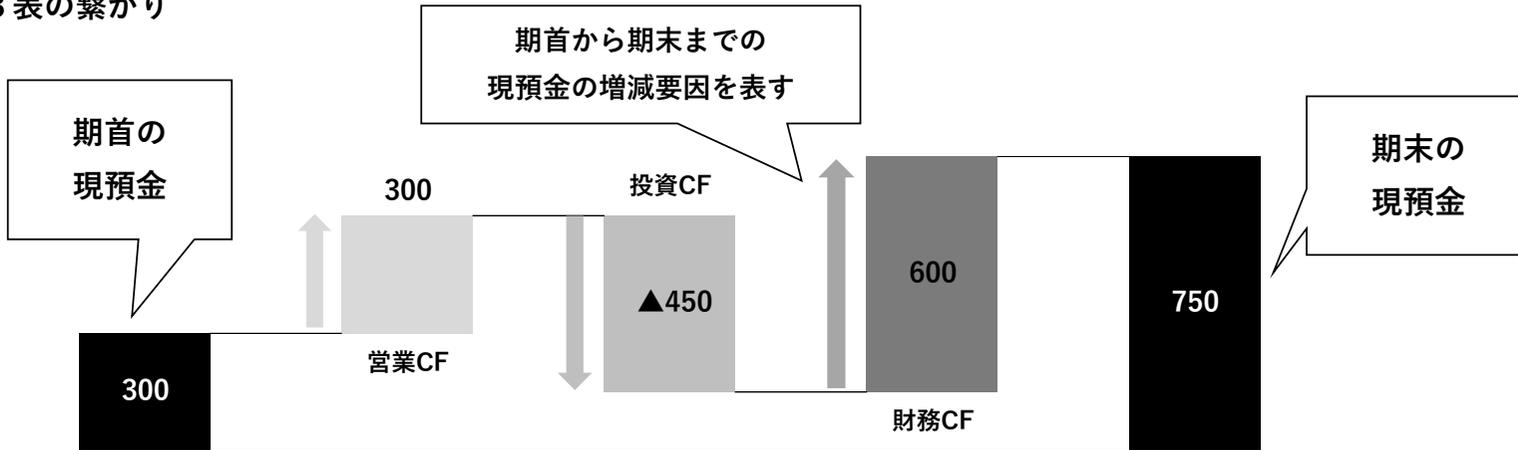
どのように変化したのか？

参考) 財務指標評価基準

カテゴリ	指標名	定義	財務指標算出式	配点基準
安全性	自己資本比率 (%)	総資本に占める自己資本の割合を示し、財務の安定性を評価する指標。	自己資本 ÷ 総資本 × 100	10点: 50%以上 / 8点: 40%以上50%未満 / 6点: 30%以上40%未満 4点: 20%以上30%未満 / 2点: 10%以上20%未満 / 0点: 10%未満
	流動比率 (%)	短期負債を流動資産でどの程度カバーできるかを示す指標。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100	10点: 200%以上 / 8点: 150%以上200%未満 / 6点: 110%以上150%未満 / 4点: 90%以上110%未満 2点: 70%以上90%未満 / 0点: 70%未満
	固定長期適合率 (%)	長期資本が固定資産をどの程度カバーできるかを示す指標。	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100	10点: 80%以下 / 8点: 80%以上100%以下 / 6点: 100%以上120%以下 4点: 120%以上150%以下 / 2点: 150%以上180%以下 / 0点: 180%以上
収益性	売上高営業利益率 (%)	売上高に対する営業利益の割合を示し、収益性を測る指標。	営業利益 ÷ 売上高 × 100	10点: 15%以上 / 8点: 10%以上15%未満 / 6点: 5%以上10%未満 4点: 1%以上5%未満 / 2点: 0.1%以上1%未満 / 0点: 0%以下
	総資産利益率 (ROA)	総資産に対する当期純利益の割合を示し、資産運用効率を測る指標。	当期純利益 ÷ 総資産 × 100	10点: 10%以上 / 8点: 8%以上10%未満 / 6点: 5%以上8%未満 / 4点: 3%以上5%未満 / 2点: 1%以上3%未満 / 0点: 1%未満
	自己資本利益率 (ROE)	自己資本に対する当期純利益の割合を示し、株主資本の収益性を測る指標。	当期純利益 ÷ 自己資本 × 100	10点: 15%以上 / 8点: 10%以上15%未満 / 6点: 5%以上10%未満 4点: 1%以上5%未満 / 2点: 0.1%以上1%未満 / 0点: 0%以下
成長性	売上高成長率 (%)	売上高の成長を測る指標で、企業の成長性を評価。	$((\text{当期売上高} - \text{前期売上高}) \div \text{前期売上高}) \times 100$	10点: プラス (成長) / 0点: マイナス (縮小)
	営業利益成長率 (%)	営業利益の成長を測る指標で、企業の成長性を評価。	$((\text{当期営業利益} - \text{前期営業利益}) \div \text{前期営業利益}) \times 100$	10点: プラス (成長) / 0点: マイナス (縮小)
返済能力	債務償還年数 (年)	借入金を営業活動でどの程度の期間で返済できるかを示す指標。	有利子負債 ÷ (税引後利益 + 減価償却費)	10点: 5年以下 / 8点: 5年以上7年以下 / 6点: 7年以上9年以下 4点: 9年以上12年以下 / 2点: 12年以上15年以下 / 0点: 15年以上もしくはマイナス
	インタレストカバレッジ	利息支払能力を測る指標で、営業利益が利息支払額をどの程度カバーするか。	(営業利益 + 支払利息) ÷ 支払利息	10点: 5倍以上 / 8点: 3倍以上5倍未満 / 6点: 2倍以上3倍未満 4点: 1倍以上2倍未満 / 2点: 0.1倍以上1倍未満 / 0点: 0.1倍未満

【1】財務3表の繋がり

キャッシュフロー



貸借対照表



損益計算書



【2】決算書概要

	前期	当期	前期比	勘定科目	前期	当期	前期比
現金	0	0	0	支払手形	0	0	0
預金	50,965,092	49,562,210	▲1,402,882	買掛金	11,867,543	13,721,871	1,854,328
①現金・預金合計	50,965,092	49,562,210	▲1,402,882	⑨仕入債務合計	11,867,543	13,721,871	1,854,328
受取手形	0	0	0	前受金	0	0	0
売掛金	26,867,543	26,875,086	7,543	未払金・未払給与	5,034,567	5,069,134	34,567
②売上債権合計	26,867,543	26,875,086	7,543	未払法人税等	205,000	894,700	689,700
③有価証券合計	0	0	0	未払消費税等	0	0	0
④当座資産合計①～③	77,832,635	76,437,296	▲1,395,339	預り金・仮受金	0	0	0
商品	6,543,210	9,876,251	3,333,041	短期借入金（役員借入）	0	0	0
仕掛品・原材料	0	0	0	短期借入金（外部調達）	0	0	0
⑤棚卸資産合計	6,543,210	9,876,251	3,333,041	上記以外の他流動負債	6,567,852	7,353,064	785,212
仮払金	0	0	0	⑩他流動負債合計	11,807,419	13,316,898	1,509,479
短期貸付金	0	0	0	⑪流動負債合計⑨⑩	23,674,962	27,038,769	3,363,807
前渡金・前払費用・未収入金	0	0	0	長期借入金（役員借入）	0	0	0
上記以外の流動資産	0	0	0	長期借入金（外部調達）	108,564,000	97,707,600	▲10,856,400
⑥他流動資産合計	0	0	0	社債・リース債務	0	0	0
⑦流動資産合計④～⑥	84,375,845	86,313,547	1,937,702	上記以外の固定負債	9,807,650	1,401,093	▲8,406,557
建物・付属設備・構築物	108,965,430	101,599,404	▲7,366,026	⑫固定負債合計	118,371,650	99,108,693	▲19,262,957
機械・工具器具備品・車両運搬具	37,356,000	34,129,454	▲3,226,546	⑬負債合計⑪⑫	142,046,612	126,147,462	▲15,899,150
土地	0	0	0	⑭資本金合計	50,000,000	50,000,000	0
上記以外の有形固定資産	0	0	0	⑮資本剰余金合計	5,000,000	5,000,000	0
⑧有形固定資産計	146,321,430	135,728,858	▲10,592,572	⑯利益剰余金合計	34,650,663	41,894,943	7,244,280
ソフトウェア	0	0	0	⑰自己株式	0	0	0
上記以外の無形固定資産	0	0	0				
①無形固定資産計	0	0	0				
投資有価証券	0	0	0				
出資金	0	0	0				
敷金・差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
保険積立金	0	0	0				
上記以外の投資等	1,000,000	1,000,000	0				
①投資その他資産合計	1,000,000	1,000,000	0				
⑫固定資産合計⑧～①	147,321,430	136,728,858	▲10,592,572	⑳純資産合計	89,650,663	96,894,943	7,244,280
①繰延資産合計	0	0	0				
⑭資産合計⑧⑫①	231,697,275	223,042,405	▲8,654,870	㉑負債・純資産合計⑬⑳	231,697,275	223,042,405	▲8,654,870

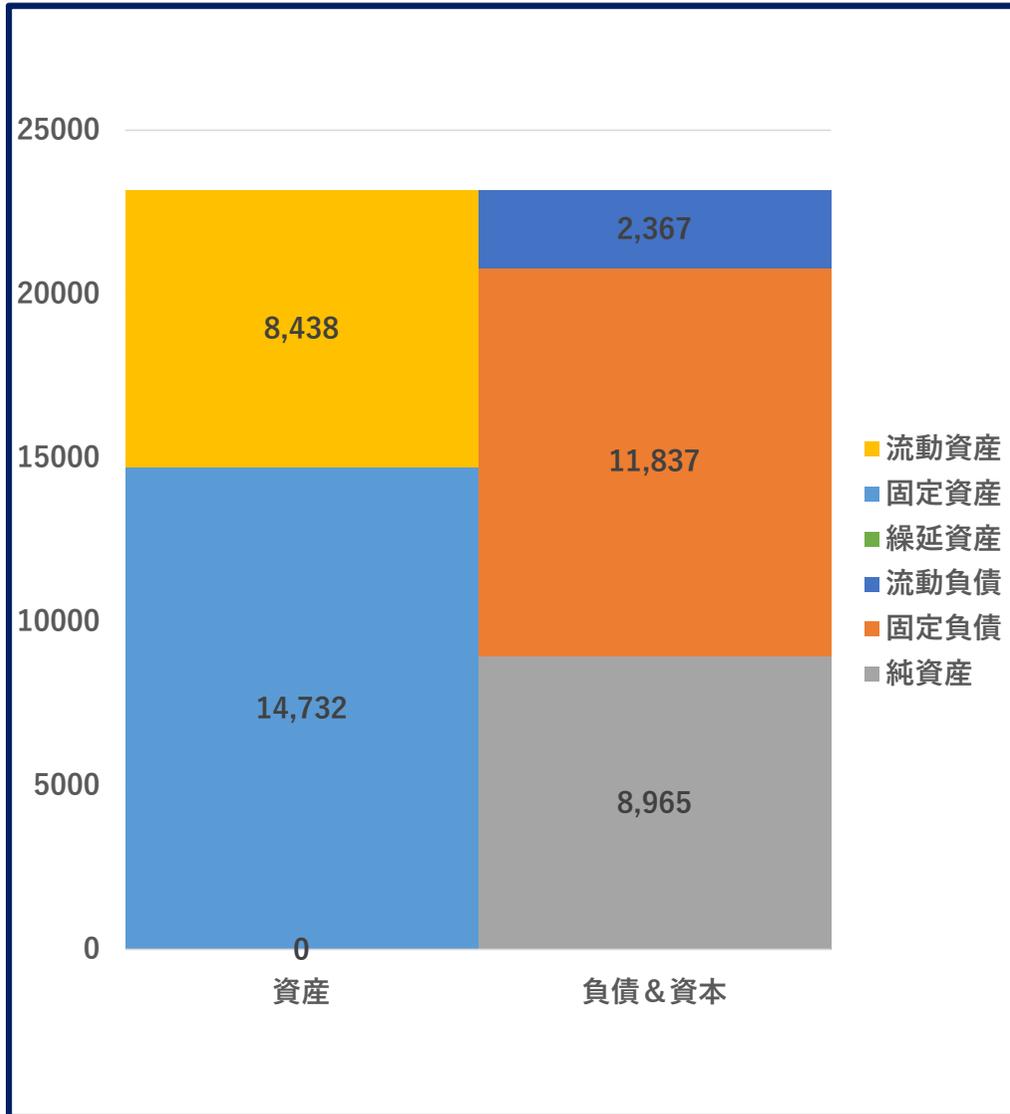
勘定科目	前期	当期	前期比
①売上高合計	331,456,789	367,825,311	36,368,522
②期首商品棚卸高	7,456,789	10,543,210	3,086,421
③当期商品仕入高	106,437,036	110,347,959	3,910,923
④期末商品棚卸高	10,543,210	9,876,251	▲666,959
⑤売上原価＝②＋③－④	103,350,615	111,014,918	7,664,303
⑥売上総利益金額＝①－⑤	228,106,174	256,810,393	28,704,219
⑦（参考）粗利益率	68.8%	69.8%	1.0%
⑧販売管理費計＝⑳～㉑	215,536,604	228,584,914	13,048,310
⑨営業利益金額＝⑥－⑧	12,569,570	28,225,479	15,655,909
⑩受取利息	32,095	32,275	180
⑪雑収入	0	0	0
⑫上記以外の営業外収益	0	0	0
⑬営業外収益合計＝⑩～⑫	32,095	32,275	180
⑭支払利息	2,345,678	2,111,110	▲234,568
⑮上記以外の営業外費用	0	0	0
⑯営業外費用合計＝⑭⑮	2,345,678	2,111,110	-234,568
⑰経常利益金額＝⑨＋⑬－⑯	10,255,987	26,146,644	15,890,657
⑱特別利益	0	0	0
⑲特別損失	0	0	0
⑳税引前当期純利益＝⑰＋⑱－⑲	10,255,987	26,146,644	15,890,657
㉑法人税等	205,000	894,700	689,700
㉒当期純利益＝㉑－㉒	10,050,987	25,251,944	15,200,957
想定年収400万円の換算社員数	30.2人	32.1人	1.9人

販売管理費内訳（中分類）	前期	当期	前期比
㉓人財費	131,411,077	146,208,932	14,797,855
㉔顧客費	4,580,245	4,870,934	290,689
㉕維持費	69,265,157	66,915,595	▲2,349,562
㉖その他経費	10,280,125	10,589,453	309,328
⑧販売管理費計＝㉓～㉖	215,536,604	228,584,914	13,048,310

販売管理費内訳（詳細）	前期	当期	前期比	
㉓人財費	役員報酬	12,000,000	12,000,000	0
	給料手当	99,881,911	106,982,711	7,100,800
	雑給	0	0	0
	賞与・退職金	10,649,623	17,898,110	7,248,487
	法定福利費	0	0	0
	福利厚生費	0	0	0
	通勤旅費	0	0	0
	採用教育費	0	0	0
	外注費・派遣外注費	8,879,543	9,328,111	448,568
	㉔顧客費	広告宣伝費	0	0
交際費		2,234,567	2,435,467	200,900
会議費		0	0	0
販売促進費		0	0	0
旅費交通費・車両費		2,345,678	2,435,467	89,789
荷造運賃		0	0	0
その他顧客費		0	0	0
通信費		0	0	0
消耗品費・事務用品費		1,234,567	1,817,677	583,110
修繕費		0	0	0
㉕維持費	水道光熱費	22,930,100	21,893,001	▲1,037,099
	新聞図書費	0	0	0
	リース料	0	0	0
	地代家賃・賃借料	32,600,123	32,612,345	12,222
	衛生費・保守費	0	0	0
	減価償却費	12,500,367	10,592,572	▲1,907,795
	その他維持費	0	0	0
	租税公課	520,000	480,921	▲39,079
	諸会費・寄付金	0	0	0
	支払手数料・顧問料	6,420,123	6,782,111	361,988
㉖その他経費	その他保険料	3,216,546	3,226,600	10,054
	雑費等	123,456	99,821	▲23,635
	⑧販売管理費計＝㉓～㉖	215,536,604	228,584,914	13,048,310

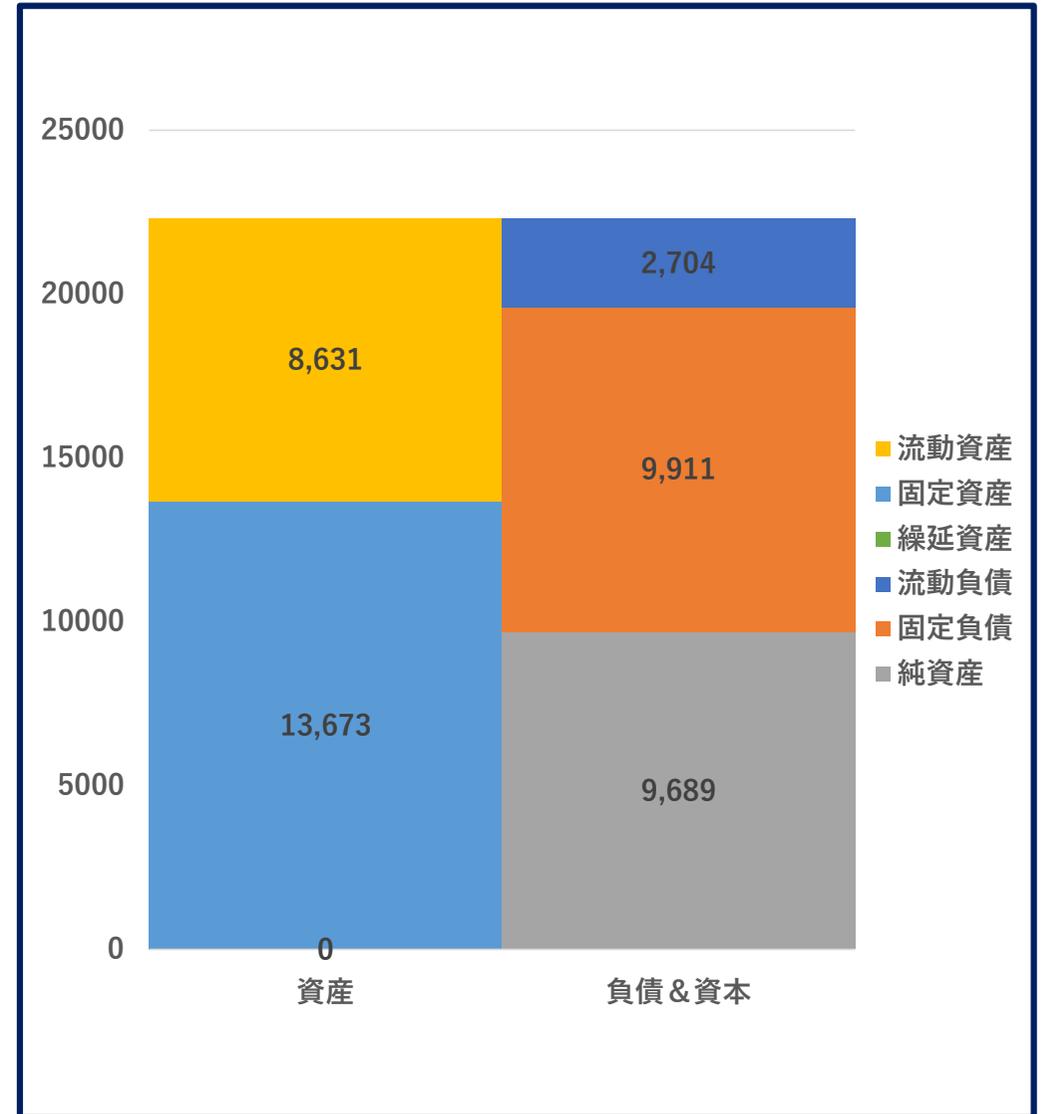
【3】 決算書サマリ(BS)

前期の貸借対照表 (BS) 単位：万円



流動資産の変化	194 万円
固定資産の変化	▲ 1,059 万円
繰延資産の変化	0 万円

当期の貸借対照表 (BS) 単位：万円



流動負債の変化	336 万円
固定負債の変化	▲ 1,926 万円
純資産の変化	724 万円

【4】決算書サマリ(PL)

※パーセンテージの表記は売上高に対する比率を示しています

前期の損益計算書 (PL) 単位：万円

		変動費		10,335	31.2%	
売上高	粗利益	販売管理費	人財費	13,141	39.6%	
			営業費	458	1.4%	
			維持費	6,927	20.9%	
			その他固定費	1,028	3.1%	
		営業利益	21	支払利息・法人税等		
		1,257	当期純利益	1,005	3.8%	3.0%
		22,811	21,554	68.8%	65.0%	
		33,146				

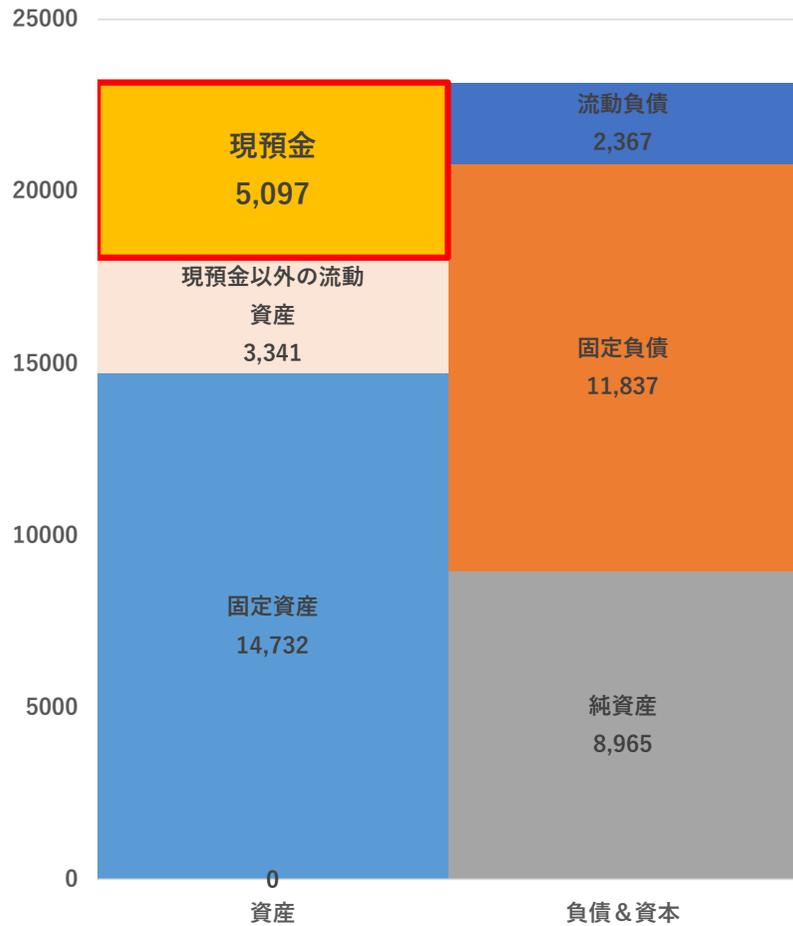
当期の損益計算書 (PL) 単位：万円

		変動費		11,101	30.2%	
売上高	粗利益	販売管理費	人財費	14,621	39.7%	
			営業費	487	1.3%	
			維持費	6,692	18.2%	
			その他固定費	1,059	2.9%	
		営業利益	89	支払利息・法人税等		
		2,823	当期純利益	2,525	7.7%	6.9%
		25,681	22,858	69.8%	62.1%	
		36,783				

【5】財務諸表をストーリーで理解する

①現預金はどのように変化したのか？

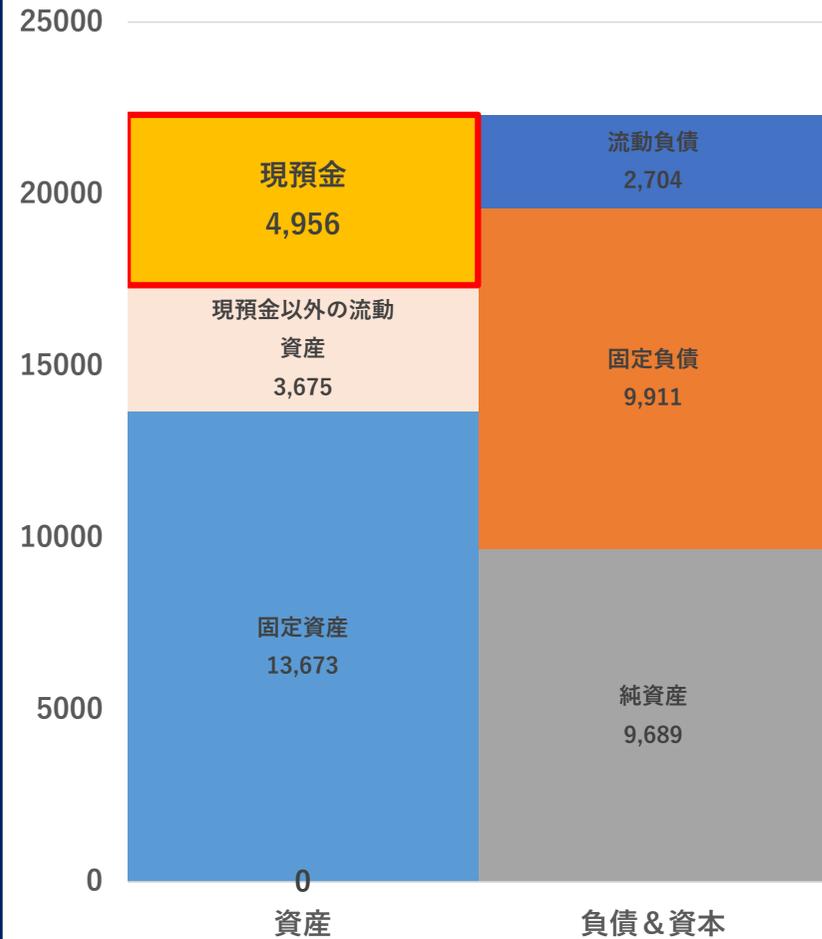
利益が出たからといって、必ずしも現預金（キャッシュ）が残るわけではありません。たとえば、営業利益が増加した場合でも、大規模な設備投資や配当金支払いが行われれば、現預金は減少する可能性があります。「現預金の増減理由」を把握して、財務戦略を考える材料にしましょう。



現預金は

-140 万円

変化しました

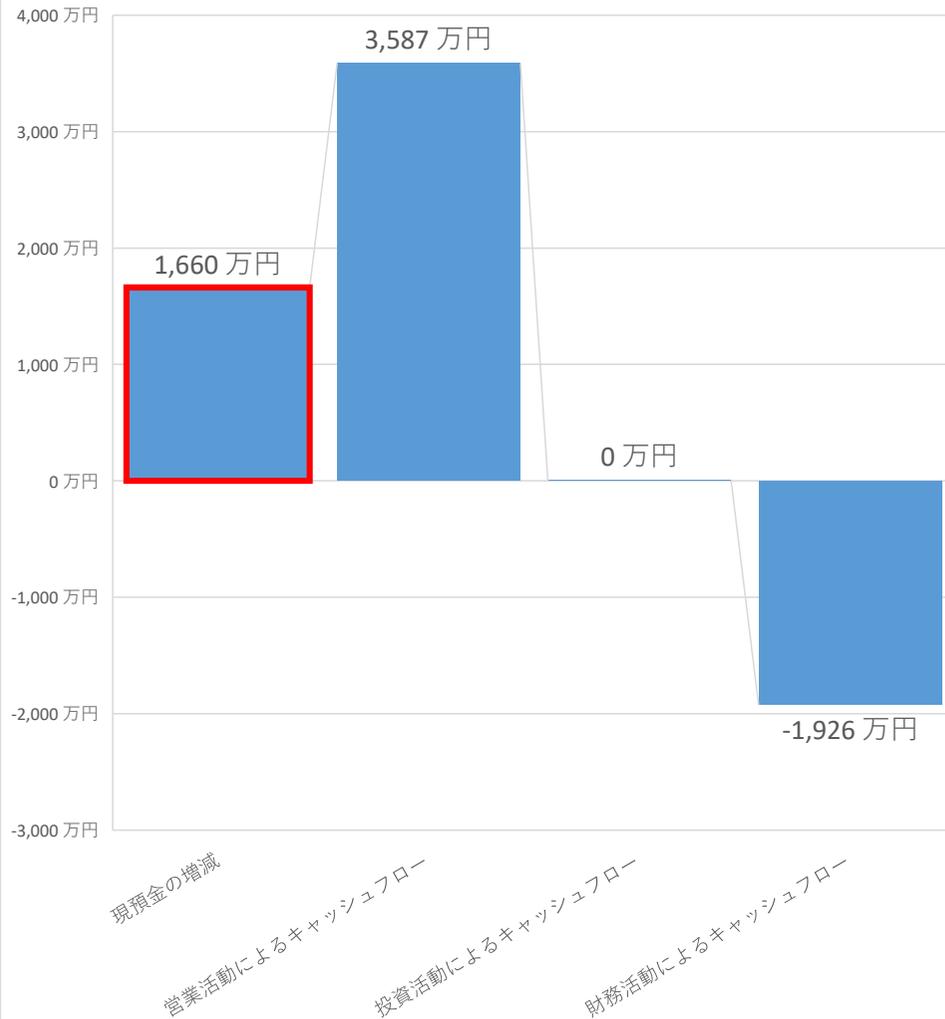


【5】財務諸表をストーリーで理解する

①現預金はどのように変化したのか？

利益が出たからといって、必ずしも現預金（キャッシュ）が残るわけではありません。たとえば、営業利益が増加した場合でも、大規模な設備投資や配当金支払いが行われれば、現預金は減少する可能性があります。「現預金の増減理由」を把握して、財務戦略を考える材料にしましょう。

キャッシュフローの増減要因



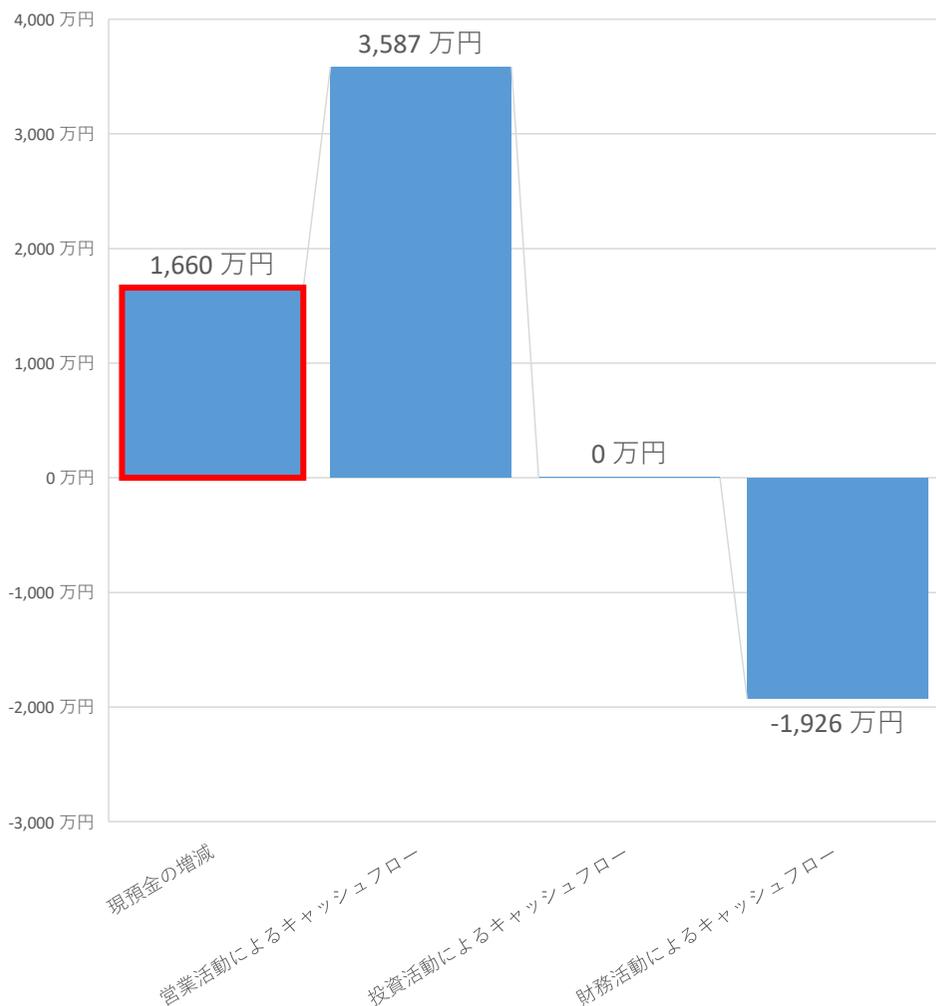
区分	内容	金額
営業活動によるキャッシュフロー		
税引後当期純利益	損益計算書から取得	2,525 万円
減価償却費	損益計算書から取得	1,059 万円
売上債権の増減	(前期売上債権 - 当期売上債権)	-1 万円
仕入債務の増減	(当期仕入債務 - 前期仕入債務)	185 万円
在庫資産の増減	(前期在庫 - 当期在庫)	-333 万円
その他調整項目	必要に応じて追加	151 万円
営業活動キャッシュフロー合計		3,587 万円
投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得・売却	(前期有形固定資産 - 当期有形固定資産)	0 万円
無形固定資産の取得・売却	(前期無形固定資産 - 当期無形固定資産)	0 万円
その他投資活動	必要に応じて追加	0 万円
投資活動キャッシュフロー合計		0 万円
財務活動によるキャッシュフロー		
借入金	(当期借入金 - 前期借入金)	-1,086 万円
資本金・自己株式等の増減	損益計算書から取得	0 万円
その他財務活動	必要に応じて追加	-841 万円
財務活動キャッシュフロー合計		-1,926 万円
現金及び現金同等物の増減	営業CF + 投資CF + 財務CF	1,660 万円
期首現金及び現金同等物	貸借対照表の前期現預金	5,097 万円
期末現金及び現金同等物	(期首現金 + 増減額)	6,757 万円

【5】財務諸表をストーリーで理解する

①現預金はどのように変化したのか？

利益が出たからといって、必ずしも現預金（キャッシュ）が残るわけではありません。たとえば、営業利益が増加した場合でも、大規模な設備投資や配当金支払いが行われれば、現預金は減少する可能性があります。「現預金の増減理由」を把握して、財務戦略を考える材料にしましょう。

キャッシュフローの増減要因



タイプ	営業CF	投資CF	財務CF	特徴
理想型	+	-	-	営業活動で得た資金を投資に使い、借入を減らしている健全な状態。
成長型	+	-	+	営業活動で資金を得つつ、投資や成長のために資金を調達している状態。
余裕型	+	+	-	営業活動での資金余裕があり、投資や借入返済を行わず資金を蓄積。
資金過剰型	+	+	+	営業利益がありながら投資せず、借入も多く資金が余剰。
立て直し型	-	-	+	営業赤字だが、資金調達により投資や運営を継続している状態。
収支不一致型	-	+	+	営業赤字があるが、投資を控え資金調達により一時的に現金を確保。
危険型	-	-	-	営業赤字で資金調達もできず、投資も継続している状態。
停滞型	-	+	-	営業赤字があるが、投資を控えつつ資金調達もしない停滞した状態。

御社のCFタイプ

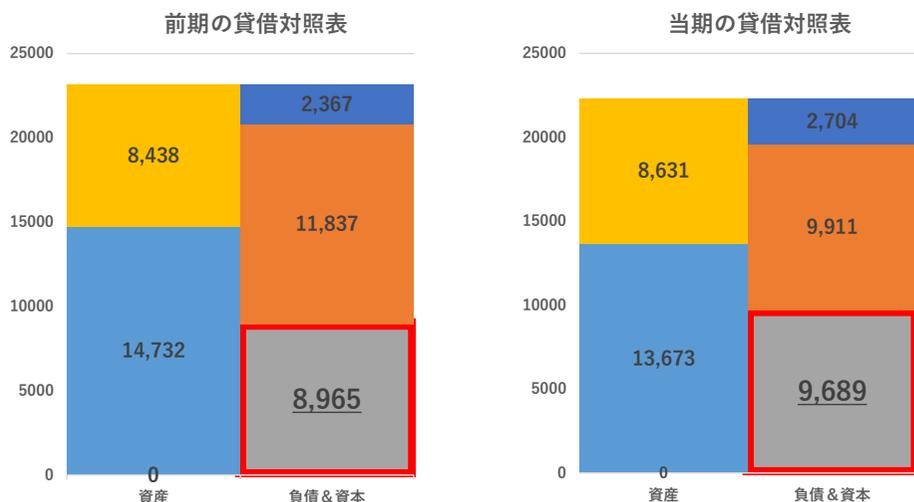
余裕型

余剰資金を配当や新規事業への投資に活用し、成長の機会を増やしつつ、企業価値を向上させましょう。

【5】財務諸表をストーリーで理解する

②純資産はどう変化したのか？（BS）

純資産の変化を分析することは、会社のお金の安定性や成長の方向を把握するために重要です。純資産が増えれば、利益が積み上がり会社が健全に成長していることを意味します。一方で、減少している場合は、経営に課題がないか確認する必要があります。この分析を通じて、会社の現状を正確に理解し、今後の経営方針や計画を適切に判断できます。



純資産は前期と比較して

724万円

変化しました

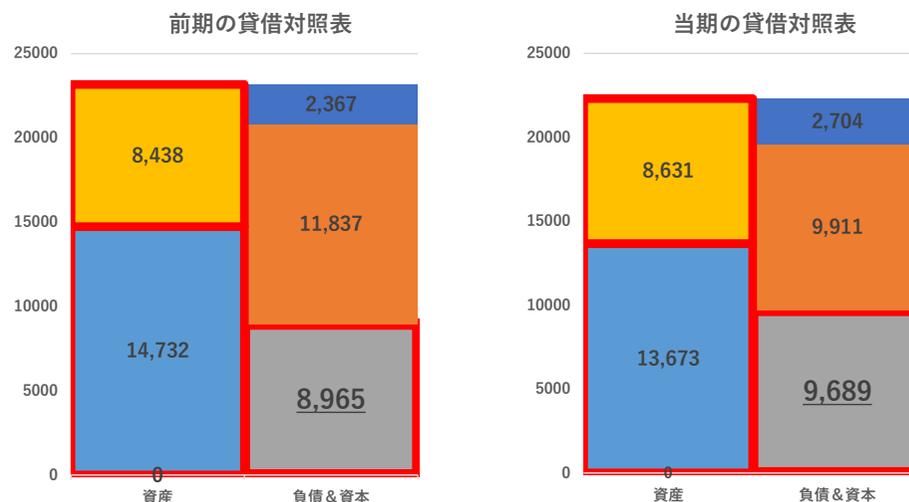
当期純利益の変化	724万円
株主取引や資本取引による変化	0万円



純資産が増加しているのは、利益が積み上がり、財務の安定性が向上していることを示します。この増加を活かして、新しい事業や設備投資に取り組む余地が広がります。今後もこの流れを維持するために、引き続き効率的な経営を心がけましょう。

③自己資本比率はどう変化したのか？（BS）

自己資本比率の変化を分析することは、会社の財務健全性を把握するために重要です。自己資本比率が高いほど、会社は借入りに依存せず、安定した資金調達ができていることを示します。逆に、自己資本比率が低下している場合、借入れが増えている可能性があり、財務リスクが高まっていることを意味します。



自己資本比率は前期と比較して

4.7%

変化しました

前期	38.7%
当期	43.4%

▶自己資本比率は**30%以上**を目指しましょう。

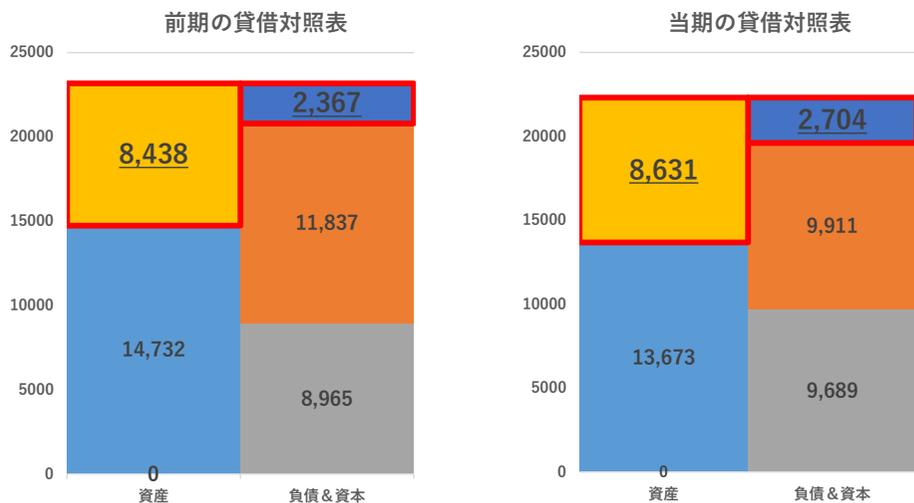


自己資本比率が増加しているのは、財務の健全性が高まり、借入りに依存せず安定した経営ができていることを示します。この状況は金融機関や投資家からの信頼にもつながります。今後も堅実な経営を続け、安定性をさらに強化していきましょう。

【5】財務諸表をストーリーで理解する

④流動比率はどう変化したのか？（BS）

流動比率の変化を見ると、会社が短期の支払いをどれだけ余裕を持ってできるかが分かります。流動比率が上がれば、支払い能力が高まったことを示し、下がれば、資金繰りに注意が必要かもしれません。定期的に確認して、健全な運営を目指しましょう。



流動比率は前期と比較して

-37.2%

変化しました

前期	当期
356.4%	319.2%

▶流動比率は**200%以上**を目指しましょう。

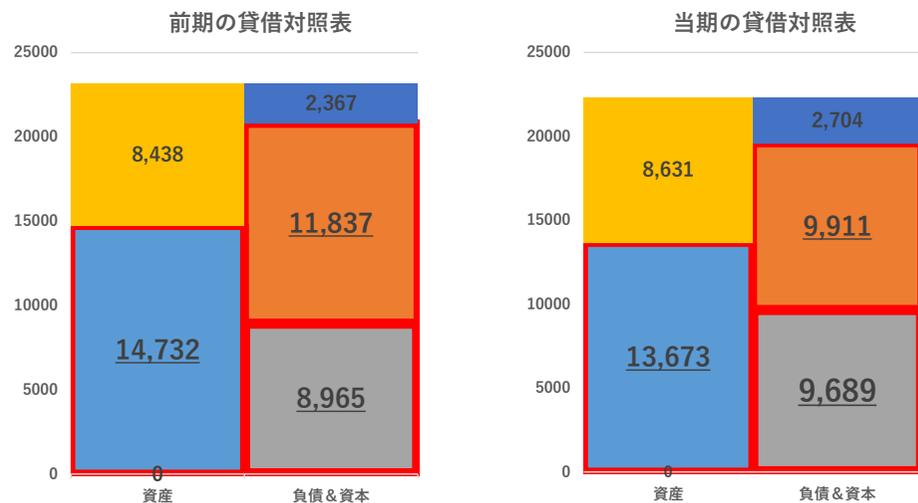
Point!



流動比率の減少は、短期的な支払い能力の低下を示しており、資金繰りに注意が必要です。負債管理や資産運用の見直しを行い、早急に安定性を回復することが重要です。

⑤固定長期適合率はどう変化したのか？（BS）

固定長期適合率を見ると、会社が固定資産を長期資金でどれだけしっかり賄えているかが分かります。この比率が低いほど、安定した資金で固定資産を支えている状態です。逆に高い場合は、短期資金に頼りすぎている可能性があり、財務の安定性に注意が必要です。適切なバランスを保つことが重要です。



固定長期適合率は前期と比較して

-1.1%

変化しました

前期	当期
70.8%	69.8%

▶固定長期適合率は**100%未満**を目指しましょう。

Point!



固定長期適合率の減少は、固定資産が長期資金でしっかり賄われており、財務の安定性が向上していることを示します。このバランスを維持しつつ、さらに効率的な資金運用を目指すことで、健全な財務状況を保てます。

【5】財務諸表をストーリーで理解する

⑥当期純利益はどう変化したのか？（PL）

当期純利益が変化した要因を特定する事が重要です。改善された場合は【成功要因】を、悪化した場合は【失敗要因】を把握しておくことで今後の経営に役立てる事が出来ます。

当期純利益の変化に最も影響を与えたのは

売上高

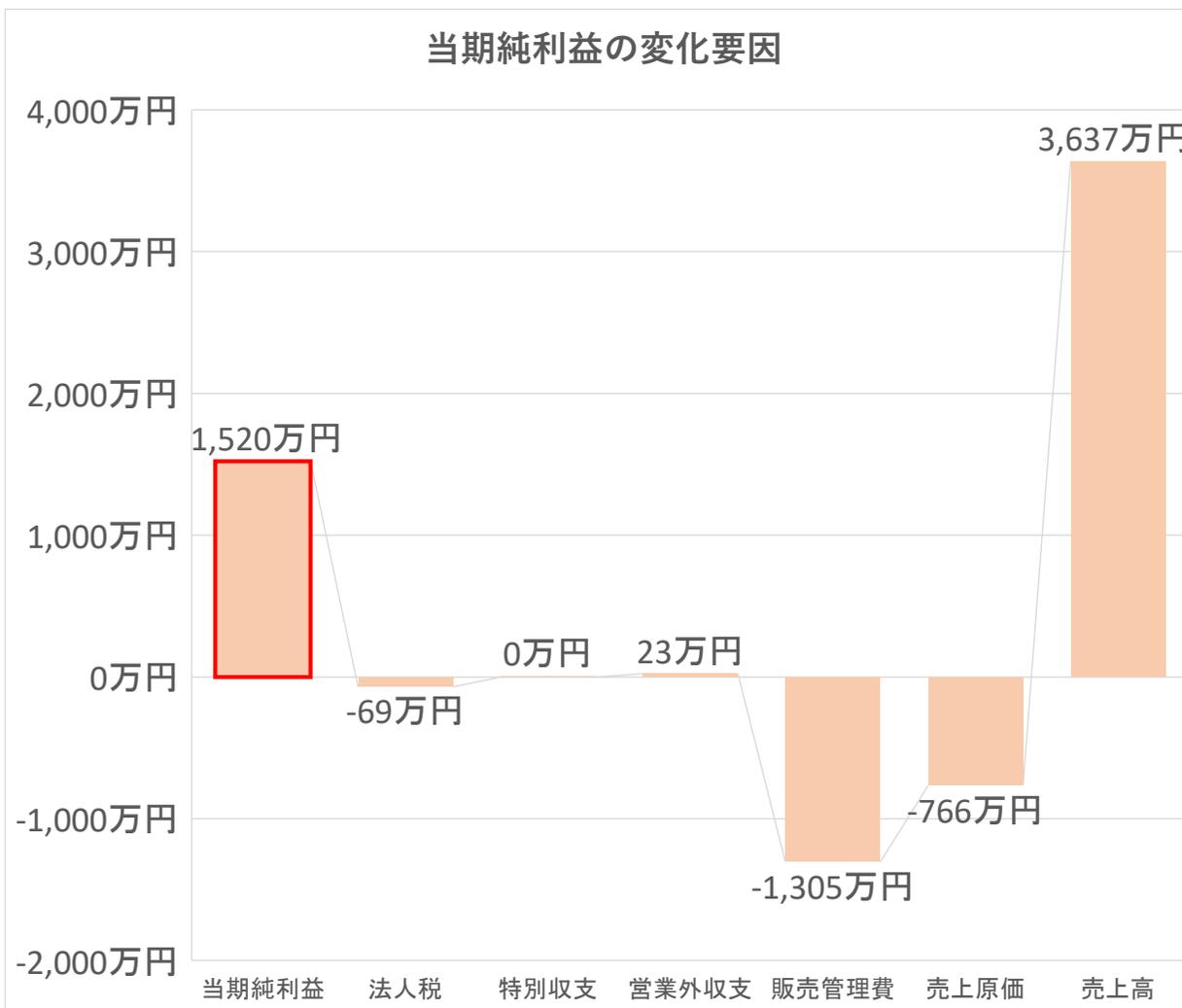
の変化です

当期純利益の変化要因(前期比較)

当期純利益	1,520万円	
法人税	69万円	↓
特別収支	0万円	—
営業外収支	23万円	↑
販売管理費	1,305万円	↓
売上原価	766万円	↓
売上高	3,637万円	↑

※上記の矢印は、当期純利益をどのように変化させたかを表しています。例えば上記の販売管理費の欄が1000万円（前期よりも当期の販売管理費が1000万円大きいという意味）の場合は当期純利益を1000万円下げる要因となるので、矢印は↓となります。

当期純利益の変化要因



PLロジックツリー

粗利益とは【企業が提供する付加価値】の事を指します。自社が提供している付加価値は何なのか？を言語化しておきましょう。

粗利益		
今期	256,810千円	
前期	228,106千円	113%
差額	28,704千円	

売上高		
今期	367,825千円	
前期	331,457千円	111%
差額	36,369千円	

営業損益		
今期	28,225千円	
前期	12,570千円	225%
差額	15,656千円	

営業利益とは【企業が本業で稼いだ利益】の事を指します。

売上原価		
今期	111,015千円	
前期	103,351千円	107%
差額	7,664千円	

商品原価		
今期	111,015千円	
前期	103,351千円	107%
差額	7,664千円	

粗利益対比		
今期	11.0%	
前期	5.5%	199.5%
差額	5.5%	

固定費とは【粗利益を生み出すために必要な投資】の事を指します。

粗利率		
今期	69.8%	
前期	68.8%	101%
差額	1.0%	

製造原価		
今期	0千円	
前期	0千円	#DIV/0!
差額	0千円	

経常損益		
今期	26,147千円	
前期	10,256千円	255%
差額	15,891千円	

経常利益とは【企業が通常の事業活動で稼いだ利益】の事を指します。

固定費		
今期	228,585千円	
前期	215,537千円	106%
差額	13,048千円	

営業外収支		
今期	-2,079千円	
前期	-2,314千円	90%
差額	235千円	

営業外収益		
今期	32千円	
前期	32千円	101%
差額	0千円	

人件費		労働分配率	
今期	146,209千円	今期	56.9%
前期	131,411千円	前期	57.6% 98.8%
差額	14,798千円	差額	-0.7%

営業費		粗利益対比	
今期	4,871千円	今期	1.9%
前期	4,580千円	前期	2.0% 94.5%
差額	291千円	差額	-0.1%

営業外費用		
今期	2,111千円	
前期	2,346千円	90%
差額	-235千円	

維持費		粗利益対比	
今期	66,916千円	今期	26.1%
前期	69,265千円	前期	30.4% 85.8%
差額	-2,350千円	差額	-4.3%

その他固定費		粗利益対比	
今期	10,589千円	今期	4.1%
前期	10,280千円	前期	4.5% 91.5%
差額	309千円	差額	-0.4%

ポイント

損益計算書のポイントは粗利益（企業が生み出した付加価値）を最大化するために、**固定費をどのように【活用】しているのか**という観点で見る事が重要です。また固定費を【人財費・営業費・維持費・その他固定費】について分類する事で、投資方針を確認する事が出来ます。

ROAロジックツリー

当座資産	
今期	76,437千円
前期	77,833千円 98%
差額	-1,395千円

棚卸資産	
今期	9,876千円
前期	6,543千円 151%
差額	3,333千円

その他流動資産	
今期	0千円
前期	0千円 #DIV/0!
差額	0千円

内、現預金		総資産対比		現預金保有月数	
今期	49,562千円	今期	22.2%	今期	2.60カ月
前期	50,965千円 97%	前期	22.0% 101.0%	前期	2.84カ月 91.7%
差額	-1,403千円	差額	0.2%	差額	-0.24カ月

有形固定資産	
今期	135,729千円
前期	146,321千円 93%
差額	-10,593千円

内、土地・建物	
今期	101,599千円
前期	108,965千円 93%
差額	-7,366千円

無形固定資産	
今期	0千円
前期	0千円 #DIV/0!
差額	0千円

投資その他資産		内、投資有価証券		内、保険積立金	
今期	1,000千円	今期	0千円	今期	0千円
前期	1,000千円 100%	前期	0千円 #DIV/0!	前期	0千円 #DIV/0!
差額	0千円	差額	0千円	差額	0千円

流動資産	
今期	86,314千円
前期	84,376千円 102%
差額	1,938千円

固定資産	
今期	136,729千円
前期	147,321千円 93%
差額	-10,593千円

総資産	
今期	223,042千円
前期	231,697千円 96%
差額	-8,655千円

5%以上が望ましい

ROA	
今期	11.3%
前期	4.3% 261%
差額	7.0%

ROAは【企業が持つ全ての資産をどれだけ効率的に使って利益を上げているか】を示しています。

当期純利益	
今期	25,252千円
前期	10,051千円 251%
差額	15,201千円

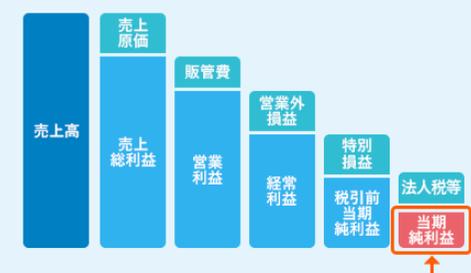
ポイント

決算書でROAを見ることは、**経営効率や資産活用の適切さを具体的に把握する手段**となります。これは、企業の現在の實力だけでなく、将来の成長可能性やリスク管理の状況を理解する上で欠かせない視点です。

貸借対照表



損益計算書



$$ROA = \frac{\text{当期純利益}}{\text{資産}}$$